

イソップ童話「ガチョウと黄金の卵」に学ぶ

イソップ童話の「ガチョウと黄金の卵」という話をご存じでしょうか。

貧しい農夫がある日、飼っていたガチョウがひとつの黄金の卵を産んでいることに気づきました。はじめは誰かのいたずらかと思ったのですが、本物の金でした。黄金の卵は市場で高い値段で売れました。

ガチョウは明くる日も、そのまた明くる日も、黄金の卵を産み続け、貧しかった農夫は、たちまち大金持ちになりました。

農夫は、黄金の卵が産まれるのを待ちきれなくなり、ガチョウを殺してお腹の中の金を全て取り出そうとしました。しかし、お腹の中に金はなく、ガチョウも死なせてしまったため、黄金の卵を手に入れることはできなくなりました。

この話の教訓は、欲張り過ぎると全てを失ってしまうよ、ということです。欲張りすぎず、いつものようにガチョウの世話をして朝を待っていれば、黄金の卵を手に入れ続けることができたのに…

「ガチョウと黄金の卵」をあなたの仕事に当てはめて考えてみてください

① あなたにとっての「黄金の卵」とは何ですか？

あなたにとっての「黄金の卵」とは何でしょうか。仕事の中で実現したいことや達成したいこと、会社から求められていることが黄金の卵にあたります。それを手に入れる、やり遂げることで、会社からの評価につながったり、やりがいや満足感を得られるものです。

あなたにとっての「黄金の卵」は何ですか？

例) 売上予算・利益予算等達成すべき指標、ある期限までに実現すべき状態・完了すべき業務、等

② あなたにとっての「ガチョウ」とは何ですか？

次に、あなたにとっての「ガチョウ」とは何でしょうか。黄金の卵を産むガチョウ、つまり①で挙げた目標を達成したり、果たすべき責任を全うするための元手は何か、ということです。

売上のためには顧客との良好な関係が大事ですし、職務を全うするためには自分ひとりの力ではなく周囲の協力が必要だとすれば、お互いの信頼関係が不可欠です。仕事をやり遂げるために使用する機械やツールもあるでしょう。これらは手に入れたい結果につながる貴重な資源なのです。

また、最も大切なガチョウはあなた自身です。業務を遂行するためにどのような知識が必要でしょうか。どのような能力を使っているでしょうか。

あなたにとっての「ガチョウ」とは何でしょうか？

例) 顧客との関係性、社内の協力体制、商品力、サービス品質、必要な知識・能力、等

③ ガチョウを養い育てていますか？

黄金の卵を手に入れるために、つまり目標達成や業務をやり遂げるためにあなたは日々頑張っていることでしょう。頑張ることは良いのですが、社内のメンバーに無茶な依頼をして関係を損ねたり、メンテナンスを怠って機械が故障したり、自分自身の健康を害したり、ということがあっては、欲しい結果を手に入れることはできなくなります。まさに欲張ってガチョウを殺した農夫と同じです。

ガチョウを養い育てるとは、結果を生み出す元手を大切にすることです。
②で挙げた資源や知識、能力をメンテナンスし、磨く必要があります。

あなたの「ガチョウ」をどのように養い育てますか？

例) 顧客との関係性を保つために定期的に電話する、機械のメンテナンスを週1回行う、商品知識の勉強会を開催する、部署内のメンバーと食事会をする、等

欲しい結果を【手に入れ続ける】ために…

短期的な視点で目の前の仕事に全力投球し成果を挙げる、それは確かに大事なことです。しかし、仕事は一回だけで終わるのではなく続きます。今「だけ」良ければいいのではなく、「継続して」成果を上げたいのです。

欲しい結果を手に入れる続けるためには、中長期的な視点に立って行動する必要があります。つまり、③で整理したとおりに成果を生んでくれる「ガチョウを養い育てる」ことです。ガチョウに目を向けることで、今だけでなく将来に向けても着実に成果を上げ続けることができます。

短期的な視点と中長期的な視点のバランスを取ることが大切です。多忙を極め時間がない状態になると、どうしても視野が狭くなり、目先のことばかりに目が行くようになります。するとますます余裕が無くなります。

①～③を整理できたら、ぜひ③の活動をスケジュールリングしてください。未来の望ましい結果に向けた先行投資を続けることで、徐々に好循環が生まれていく感覚がつかめるはずです。

➡ ご相談はこちらから ⬅